

青森中央経理専門学校 青森中央文化専門学校
学校関係者評価委員会 報告書

学校法人青森田中学園
青森中央経理専門学校
青森中央文化専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人青森田中学園 青森中央経理専門学校並びに青森中央文化専門学校は
令和4年度第1回学校関係者評価委員会を開催いたしましたので報告致します。

●開催日

令和4年 8月31日(水) 13:30～14:40

●開催場所

本学園9号館(学術交流会館)3階 934教室

●企業等委員

栗原 良明 氏 (FPエデュケーションズ青森 代表)
永井 栄 氏 (医療法人白鷗会 まちだ内科クリニック 事務長) 欠席
高坂 麻子 氏 (公益社団法人 青森観光コンベンション協会/ねぶたの家ワ・ラッセ 副館長) 欠席
太田 智三 氏 (青森市横内町内会 町会長)
樽澤 康太 氏 (株式会社ティエル・マネジメント/青森中央経理専門学校卒業生)
今 順司 氏 (青森県アパレル工業会・株式会社蓬田紳装 取締役工場長)
泉谷 里奈 氏 (株式会社 アプティマルワ/青森中央文化専門学校卒業生)

●学校側

石田 憲久 (学校法人青森田中学園 理事長、
青森中央経理専門学校 校長、青森中央文化専門学校 校長代行)
櫻庭 肇 (学校法人青森田中学園 事務局長)
鈴木 伸吾 (青森中央経理専門学校 主任教諭)
曾我 武 (青森中央文化専門学校 主任教諭)
塚本 大広 (青森中央経理専門学校 教諭)
佐藤 紋子 (青森中央経理専門学校 教諭)
大水 咲良 (青森中央文化専門学校 教諭)
工藤 純子 (青森中央文化専門学校 教諭) 欠席

●次第

1. 開会あいさつ

学校法人青森田中学園理事長

青森中央経理専門学校校長

青森中央文化専門学校校長代行 石田 憲久

2. 出席者（委員）紹介

→資料に基づき、出席者を紹介

3. 規定・位置づけ

→資料に基づき、規定・位置づけを確認

4. 令和3年度自己点検評価結果について

→概要と取り組み状況・成果について説明

○基準4 教育成果

→令和4年3月末時点での就職率は青森中央文化専門学校が88.8%、青森中央経理専門学校が95.0%であった。また、令和3年度の退学者は青森中央文化専門学校が4名、青森中央経理専門学校が1名であった。

○基準6 教育環境

→学園設置校の学生全員にoffice365のアカウントを付与し、授業等で活用しており、特に、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う休校処置がとられた際には、リモート授業に切り替えて授業の継続を行うことができた。

○基準7 学生の募集と受入れ

→令和4年度入学者数は青森中央文化専門学校が11名、うち指定校推薦制度での入学者数は7名であった。青森中央経理専門学校が33名、うち指定校推薦制度での入学者数は26名であった。

5. 質疑応答・意見交換

→委員の皆様から自己点検・評価報告書に対する質問・意見等を頂く

委員からの質問・意見等	質問・意見等に対する回答
文化、経理共に ZOOM や Teams を活用しての授業実施や、オープンキャンパス等々もオンライン対応を行ったという報告があったが、オンライン対応でのオープンキャンパスの参加数、視聴者数、申込はどれくらいあったのか。	実際にリモートでのオープンキャンパス開催は難しく、個別での相談という形で実施した。県内では青森市外の方から個別に依頼があり、実施後は出願、入学者に繋がった。

<p>青森中央文化専門学校の退学者数4名が多いと感じた。原因がわかれば教えてほしい。</p>	<p>家庭の事情で辞めざるを得ない学生や、学習意欲の不振・本人のやる気が継続できなかった学生が退学に繋がった。改善点は勿論改善し、退学者が出ないように進めさせていただきたいと思っている。</p>
<p>少子化が進み経営が大変だと思うが、両校が設立された時期から現在に至るまで、同窓会はあるのか。卒業生は学校の事情を覚えていると思うので、自分の子供や孫を母校へ推薦したいという形になり、周知拡大に繋がるのではないか。</p>	<p>同窓会は無いが、校友会という組織があり、同窓会自体は実施したことはないので、検討したい。また、兄弟姉妹で入学するケースが多々あり、兄、姉が卒業後に弟、妹が入るケースがある。</p>
<p>Bunka Fashion Live2022のオンライン配信を拝見した。配信した反響はあったか。</p>	<p>我々も手探りでやっているのが正直なところである。見た・良かった等の声が聴けるのは凄く良いツールだと感じているので、今後も勉強を重ねながら活用していく。</p>
<p>青森中央文化専門学校の就職先は県内よりも県外の方が多いと思うが、地方のファッション関係の仕事は、首都圏と比べ立ち遅れているのか。</p>	<p>立ち遅れているということはないが、地域ごとに募集される職種が異なり、特に販売はブランド店が首都圏に集中しているので、求人も首都圏が主になり、出たいという学生は多いと感じる。</p>
<p>若い人たちには首都圏の販売業が人気で、生産側になかなか働き手が来ないのが最近の現状となっている。これまで海外で生産していたが、コロナ等の問題で国内での製造に戻す企業が増える中、人手不足で仕事があふれてしまっている工場が多い。</p>	<p>ファッションビジネス系の学校等は、全く衣装を作らないで勉強するスタイルが多いが、本校は販売やスタイリストを目指す学科の学生も制作の授業を受けているので、ものづくりの楽しさを伝えられればと思っている。今後の課題とさせていただく。</p>

6. 次回日程（案）

→資料に基づき、次回日程（案）について説明

7. 閉会挨拶

学校法人青森田中学園事務局長

櫻庭 肇

以上をもって、終了した。